



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）9月5日号 No. 1439

目次

■ロシア・グルジア紛争で緊迫するコーカサス情勢 廣瀬 陽子 1
■トピックス 12
いすゞがロシアにピックアップトラック投入/12	
コマツがロシアでプレス機受注/12	
大塚製菓がロシア事業展開へ/12	

講演録

ロシア・グルジア紛争で緊迫するコーカサス情勢

静岡県立大学 国際関係学部

准教授 廣瀬 陽子

はじめに

北京オリンピックとほぼ同時に始まったグルジアの南オセチア問題に端を発するロシアとグルジアの紛争が世界に与えた衝撃は大変大きい。武力紛争そのものは、「5日紛争」と言われるように比較的短期間で終わったものの、その後もロシア軍がなかなか駐留を止めなかったり、また停戦合意文書でもめたりしつつ、プロパガンダ合戦もヒートアップし、ロシアとグルジア、そして欧米諸国との溝は深まるばかりである。

こうした情勢を受け、ロシアNIS貿易会では8月25日、コーカサス地域研究の第一人者である静岡県立大学の廣瀬陽子准教授を講師にお招きし、「緊急報告：ロシア・グルジア紛争で緊迫するコーカサス情勢」と題し、会員の皆様向けの「メンバーズ・ブリーフ」を開催した。同紛争の今後の情勢はまだ不透明な部分が多いとはいえ、現時点での紛争の状況、背景、今回の一連の経過についての分析、今後の展望などについて報告していただいた。そこで速報の今号では、このメンバーズ・ブリーフの報告要旨をお届けすることにする。なお、当日の報告で用いられたパワーポイントのファイルをPDF化して当会ウェブサイトにアップしたので、あわせてご利用いただきたい。速報では、紙幅の都合で図を省略させていただくので、図に関してはパワーポイントをご参照いただければ幸いである。（編集部）

パワーポイント資料→<http://www.rotobo.or.jp/quick/MB20080825.pdf>